

第4学年 社会科学学習指導案

- 1 単元名 4 きょう土の伝統・文化と先人たち
「1 のこしたいもの つたえたいもの」

2 単元について

(1) 内容

本単元は、小学校学習指導要領解説社会編の第4学年の目標及び以下の内容に基づいて行う。

内容(4)

県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 歴史的背景や現在に至る経緯、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。

千葉県には、国指定と県指定だけでも約700点の文化財があり、そのうち〇〇市では23点が保存・継承されている。文化財は特徴毎にいくつか分類されるが、このうち民俗文化財は、文化財保護法において「衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋その他の物件で我が国民の生活の推移の理解のため欠くことのできないもの」と定められている。このことから、人々の願いや努力について考えることを通して文化財についての理解を深めることをねらいとする本単元において、民俗文化財は適した教材と言える。

民俗文化財の中には、本単元で取り上げる獅子舞がある。獅子舞には、二人以上で一つの獅子を操作する二人立ちの獅子舞と、一人で一つの獅子舞を操作する一人立ちの獅子舞の2種類がある。私たちが正月によく目にする獅子舞は一般的に二人立ちの獅子舞であり、伎楽系の獅子舞と呼ばれ、主に西日本で広まっている。一方、東日本で広まっているのは、一人立ちの獅子舞で、風流(ふりゅう)系の獅子舞と呼ばれている。これは雄獅子、雌獅子、中獅子(呼び方は地域によって様々である)の三匹で構成されていることから「三匹獅子舞」という。地域によって名称は異なるが、千葉県に広く伝わっているのは、この「三匹獅子舞」であり、〇〇市にも継承されている。

これらの獅子舞の起源は様々だが、五穀豊穡や疫病退散などを願い、地域の社寺に奉納することを目的としていることは共通している。また、農村地域における数少ない娯楽という側面や、芸能文化の伝承を通して地域のコミュニティを形成するという側面もあった。しかし今日では、獅子舞の本来の目的は徐々に薄れ、地域全体で保存・継承していこうという動きは少なくなっている。各地域では保存会に属する一部の人々が、地方自治体の助成金等支援を受けながら、これまで受け継いできた獅子舞を絶やさぬように必死に保存・継承に取り組んでいるのが現状である。

このように獅子舞の保存・継承が困難な状況にあるのは、主に二つの要因が考えられる。

第一に後継者の不足である。もともと、これらの獅子舞が行われているのは、比較的小規模の集落で、そのほとんどが今では過疎地域である。若者の多くは都市部へ移動し、残っているのはほとんどが高齢者のため、保存したくても体力的に限界がある。仮に後継者がいても、翌年以降も継続できるかは分からず、次の後継者をどうするのかという問題が常に浮かび上がっている。

第二に文化財に対する価値観の多様化である。文化財の保存・継承には多くの人々の協力や経済的

な援助が必要不可欠である。保存することには賛成だが自ら協力することには消極的であったり、そもそも文化財の保存・継承に対して必要性を感じていなかったりする考えも見られるようになってきている。

これらのことから、文化財の保存・継承について改めて考えることは必要である。実際に文化財の保存や継承に関わるのは地元住民である。しかし、同じ市に住む住民として、または県民として、地域の文化財に関心を寄せることも、文化財の保存や継承に関わっていることになるであろう。また、地域固有の文化財をこれからも大切にしていけることは、まちづくりとも大きく関わることである。つまり、文化財の保存・継承は、同じ地域に住む全ての人々に関わる問題であり、私たち一人一人の関わり方が問われている問題であると言えるのである。

(2) 指導観

文化財は県内各地において保存・継承されているが、その活動に取り組んでいる一部の児童以外にとって、自分事として考えにくいものであることが多い。まして、自分の住む地域にそのような文化財が無ければその傾向は顕著なものであろう。このような中で文化財について学習すると、「保存した方がよい。」「そのよさを積極的に発信しよう。」といった、ある種他人事の考えに陥りやすい。それでは、文化財の保存・継承が抱えている本質的な問題に目を向けたことにはならない。文化財の保存・継承が抱える問題は、地域から若者が流出することによる後継者の不足と、様々な価値観が生まれたことによる地域の関係性の希薄化が大きく関係している。このようなことを理解した上で、今後自分自身がどのように文化財と関わっていくことが文化財の保存・継承につながるのかということについて考えさせたい。このことが、地域の文化財の保存・継承を自分事として捉えて関わっていこうとする、地域社会の一員としての自覚を養うことにつながると思う。

そこで本単元では、ほとんどの児童が初めて触れる地域の文化財について、児童が自分事として捉えることができるように段階を追って学習していく。

まず、「つかむ」過程において、文化財の歴史的な背景や現在に至る経緯について理解させる。今からどのくらい前のできごとなのかという歴史的な感覚を児童に身に付けさせる必要がある。そこで、歴史クイズをしたり様々なできごとを年表に整理したりする。その上で「□□の獅子舞」の始まりを年表上に表すことで、獅子舞に長い歴史があることを視覚的に理解させ、「なぜ昔から今まで続けられてきたのか。」「どのように受け継がれてきたのか。」という疑問をもたせる。

次に、「調べる」過程において、「□□の獅子舞」について理解させる。同じ市内の文化財とはいえ、ほとんどの児童がその存在すら知らない。そこで、どのような舞なのか、人々がどのように受け継いできたのか、指定無形民俗文化財としてどのように保存・継承されてきたのか、人々にとって獅子舞はどのようなものであったか、などについて丁寧に学習していく。学習にあたっては、獅子舞の保存・継承に携わる地域人材を活用して実演していただいたり、体験したりすることを通して、児童の興味関心を高めていくようにする。また、文化財の保存には、千葉県や〇〇市などの行政の働きがあることにも触れ、様々な人々の取り組みによって、今日まで受け継がれてきたことを理解させる。

「いかす」過程では、「□□の獅子舞」を含めた様々な文化財が保存・継承について問題を抱えていることを提示する。ここで児童は、文化財の保存・継承には様々な苦労があることに改めて気付かされることになる。そこで児童に、「□□の獅子舞はこれからも保存したり、受け継いだりすることができるか。」ということについて考え話し合わせる。これによって、文化財の保存・継承は決して簡単な問題ではないが、文化財を大切にしていけることの重要性には気付くことができるであろう。そして、「文化財を保存・継承していくために、自分たちが□□の獅子舞とどのように関わっていけばよいか」を児童一人一人に考えさせていく。

学習にあたっては、獅子舞の保存・継承に携わっている方、千葉県や〇〇市で文化財の保存に携わっている方、地域の歴史に詳しい歴史民俗資料館の館長に協力を仰ぎ、様々な立場から学習活動に関わっていただく。地域人材を活用した学習は、地域教材を学ぶ社会科の面白さにつながり、児童と教材（獅子舞）をぐっと近づける効果がある。単元の終末には「獅子舞と私たち」というテーマで発表

会を行い、自分たちが文化財とどのように関わっていけばよいかについて発表させる。ここでも、学習に協力していただいた地域人材を招き、児童の発表を聞いてそれぞれの立場から助言や感想を伝えてもらうようにする。児童は自分たちの発表に対して助言や感想をもらうことで、新しい発見をすることができたり、自分たちの意見について自信をもつことができたりするようになるであろう。このような学習活動を通して、地域の文化財の保存・継承を自分事と捉え、自ら関わろうとする態度を身に付けさせ、地域社会の一員としての自覚を養いたい。

3 単元目標

〔知識及び技能〕

- ・歴史的な背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどについて見学・調査したり地図や年表などの資料を調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、千葉県文化財や年中行事、「□□の獅子舞」の様子を理解できるようにする。
- ・「□□の獅子舞」について見学・体験・説明を通して、必要な情報を集め、獅子舞の様子を理解できるようにする。
- ・調べたことを文などにまとめ、「□□の獅子舞」には地域の発展や人々のつながりの構築など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにする。
- ・歴史的背景や現在に至る経過に着目して、「□□の獅子舞」を中心とした文化財の保存・継承が困難になっていることを理解できるようにする。

〔思考力、判断力、表現力等〕

- ・歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどに着目して、問いを見出し、「□□の獅子舞」のこれからの保存・継承について考え表現する力を養う。
- ・「□□の獅子舞」を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えたり、学習したことを基に保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、表現する力を養う。

〔学びに向かう力、人間性等〕

- ・「□□の獅子舞」について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決できるようにする。
- ・自分たちが「□□の獅子舞」についてどのように関わろうとするかなどを考えることができるようにする。

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 歴史的な背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどについて見学・調査したり地図や年表などの資料を調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、千葉県文化財や年中行事、「□□の獅子舞」の様子を理解している。 ② 「□□の獅子舞」について見学・体験・説明を通して、必要な情報を集め、獅子舞の様子を理解している。	① 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどに着目して、問いを見出し、「□□の獅子舞」のこれからの保存・継承について考え表現している。 ② 「□□の獅子舞」を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えたり、学習したことを	① 「□□の獅子舞」について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 自分たちが「□□の獅子舞」についてどのように関わろうとするかなどを考えようとしている。

<p>③ 調べたことを文などにまとめ、「□□の獅子舞」には地域の発展や人々のつながりの構築など人々の様々な願いが込められていることを理解している。</p> <p>④ 歴史的背景や現在に至る経過に着目して、「□□の獅子舞」を中心とした文化財の保存・継承が困難になっていることを理解している。</p>	<p>基に保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、表現している。</p>	
--	---	--

5 指導計画 (14 時間)

学習過程	○学習内容 ●本時の問い	【評価規準】と(評価方法)	時数
つかむ	<p>○建物の建設されたときやできごとが起こったときに関する歴史クイズを行う。</p> <p>○年表の仕組みを確認し、できごとを年表上に並べる。</p> <p>○建物やできごとを県の地図上に表す。</p> <p>●県内には、どのような祭りや文化財があるのだろうか。</p> <p>○「祭り」や「文化財」の名称と位置を確認する。</p>	<p>【知識・技能①】(発言)</p> <p>歴史的な背景や現在に至る経過、県内における分布などについて、地図や年表などの資料を調べて、必要な情報を集め、読み取り、千葉県文化財や年中行事を理解することができている。</p>	1
つかむ	<p>○獅子舞について知る。</p> <p>●「□□の獅子舞」は、どのようなものなのだろうか。</p> <p>○「□□の獅子舞」について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなものなのか。 ・どこでやっているのか。 ・いつからやっているのか。 ・何のためにやっているのか。 	<p>【知識・技能②】(行動観察・発言)</p> <p>「□□の獅子舞」について見学・体験・説明を通して、必要な情報を集め、獅子舞の様子を理解することができている。</p>	1
つかむ	<p>○学習問題を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○○市の獅子舞は、なぜ昔から今まで長い間続けられ、どのように受け継がれてきたのだろうか。</p> </div> <p>○予想を立てる。</p> <p>○学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獅子舞は、どのようにして伝えられてきたのか。 ・獅子舞の準備は、誰がどのようにしてきたのか。 ・獅子舞の保存のために、千葉県はどのような協力をしているのか。 ・獅子舞は、人々にとってどのようなものなのか。 	<p>【主体的に学習に取り組む態度①】(記述・発言)</p> <p>「□□の獅子舞」について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>	1

いかす	<p>○自分たちは、獅子舞にどのように関われるか考える。</p> <p>○活動の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獅子舞との関わり方について考える。 ・なぜそのような関わり方がよいと思ったのか、その理由を考える。 ・ロイロノートに自分たちの意見をまとめる。 ・発表練習を行う。(3分以内にまとめる) <p>○グループ活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに獅子舞との関わり方について考える。 ・関わり方と根拠について、ロイロノートにまとめる。 ・プレゼンテーションの練習を行う。 	<p>【主体的に学習に取り組む態度②】 (記述・発言)</p> <p>自分たちが「□□の獅子舞」についてどのように関わろうとするかなどを考えようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現②】(記述・発言)</p> <p>「□□の獅子舞」を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えたり、学習したことを基に保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、表現することができている。</p>	3
いかす	<p>○「獅子舞と私たち」発表会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表する。 ・各グループの発表を聞いて、質問や意見交換を行う。 ・地域の方から感想や意見をいただく。 	<p>【思考・判断・表現②】(記述・発表)</p> <p>「□□の獅子舞」を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えたり、学習したことを基に保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、表現することができている。</p>	1

10	<p>○話し合ったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存・継承するためには、様々な人々の協力が必要。 ・残すことは難しいけれど、これまで受け継がれた獅子舞は、これからも残していきたい。 <p>→そのためにできることはないのだろうか。</p>	<p>◎歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどに着目して、問いを見出し、「□□の獅子舞」のこれからの保存・継承について考え表現することができている。</p> <p>【思考・判断・表現①】（記述・発言）</p>	タブレット端末
5	<p>3 学習問題を立てる。</p> <p>私たちは、これから獅子舞とどのように関わっていけばよいのだろうか。</p>		
5	<p>4 本時の振り返りと次時の予告をする。</p>	<p>◇本時の学習で分かったことや新しい疑問などについて書くようにさせる。</p>	